

糖尿病教室開催について

2階カンファレンスルームにて

様々な職種の講師が勉強会を行っております。

医師 毎月3回水曜日 10:30～
合併症や治療について等

看護師 毎月3回月曜日 15:00～
日常生活や衛生管理について等

薬剤師 毎月1回火曜日 15:00～
薬物治療について

理学療法士 毎月1回火曜日 15:00～
運動療法について

管理栄養士 毎月1回木曜日 15:00～
食事療法について

※日時の詳細はお電話または窓口へお問い合わせ下さい。

昼食会 2階食堂にて

栄養士による食事療法の勉強会です。
実際に食事をとりながら勉強します。
毎週木曜日 12:00～(予約制 材料費300円)

ビデオ放映 2階カンファレンスルームにて

ビデオ鑑賞後、医師による解説や懇談会を行います。
火・木曜日 15:00～

外来診療担当週間予定表 2013年09月26日～

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1	小野 (内科一般)	和田 (内科一般)	小野 (内科一般)	産医大 (呼吸器)	小野 (内科一般)	交代制
	2	西野 (循環器)	西野 (循環器)	早川 (循環器)	早川 (循環器)	迎 (循環器)	
	3	宮崎 (呼吸器)	鎌田 (内科一般)	前川 (消化器)	前川 (消化器)	宮崎 (呼吸器)	
	4	中田 (糖尿病)	安部 (リウマチ/内科)	福元 (再診のみ)	中田 (糖尿病)	安部 (リウマチ/内科)	
	5	長野 (肝臓)	原田 (消化器)	山中 (消化器)	長井 (循環器)	長井 (循環器)	
午後	エコー		原田	原田			総 回 診
	胃 内視鏡	前川	寺部		是此田	山中/前川	
	1	山中 (消化器)	産医大 (呼吸器)	和田 (内科一般)	和田 (内科一般)	産医大 (第2内科)	
	2	早川 (循環器)	迎 (循環器)	迎 (循環器)	西野 (循環器)	産医大 (消化器外科)	
	3	鎌田 (内科一般)	前川 (消化器)	宮崎 (呼吸器)	鎌田 (内科一般)		
	4	安部 (リウマチ/内科)	中田 (糖尿病)	福元 (再診のみ)	福元 (再診のみ)		
	5		長井 (循環器)		是此田 (消化器)		
	大腸 内視鏡		寺部				

Information

病院内見学

病院内見学を受け付けています。
ご希望の方は、総合案内までお申し出下さい。

意見箱

各病棟外来に意見箱を設置しています。どなたでも気付いた
ことがありましたら、御意見をお聞かせ下さい。



特定医療法人 東筑会 東筑病院

〒807-0856 北九州市八幡西区八枝1丁目7番20号
TEL 093-603-0111 FAX 093-691-4831

http://www.touchiku-hospital.com 東筑病院 検索

アクセス
●西鉄バス「八枝2丁目」下車正面
●西鉄バス「北の浦」バス停から徒歩3分
●JR「おりお」駅から車で10分



夕日に照らされる東筑病院

■ KAIHOU: 開放型病院・病気が快方する・良い知らせの快報・患者さんの介抱・計画や考えを心を持つ懐抱等、すべての意味を込めて KAIHOU としました

CONTENTS

Special section 循環器 up-to-date p1

Report 看護部通信 インフルエンザ情報 p2

Report 地域医療連携室・医療相談室 ソーシャルワーカー p3

Report リハビリテーション科 カンファレンスへの取り組み p4

Report 翡翠苑だより ふれあい祭り p5

News 東筑会ボウリング大会・栄養科通信 p6

vol.41



特定医療法人 東筑会 東筑病院
広報誌『KAIHOU』
2013.9.26 vol.41

循環器 Up-to-date

平成25年7月12日に東筑病院理事長兼院長早川知宏先生が座長を務める「循環器 Up.to.date」がホテルクラウンパレス北九州で行われました。帝京大学医学部附属溝口病院第4内科教授村川裕二先生をお迎えして、「あなたが心電図を読めない本当の理由」という演題で特別講演して頂きました。

様々な症例をまじえながら、心電図で判断できる事、判断できない事をわかりやすく紹介していただき、今後の診療に非常に役立つ、講演でした。



座長 東筑病院 理事長兼院長
循環器内科 早川知宏

当日は暑さ厳しいなか、近隣の病院、開業医の先生方等、多くの方々に参加して頂き、有難うございました。おかげさまで無事に会を終えることができました。今後も定期的にこのような機会をもうけますので、よろしくお願いします。



帝京大学医学部附属溝口病院
第4内科 教授 村川裕二先生

主に、狭心症・心筋梗塞に対して、心臓カテーテル検査やカテーテルを使った治療を行っています。カテーテル治療は心臓以外にも、頸動脈・腎臓・下肢など、全ての血管に対して行っています。不整脈の治療は、カテーテルアブレーションやペースメーカー植込みを行っており、また、薬による治療や病気の予防のための生活指導にも力を入れています。最近、日帰りのできる冠動脈CT検査が増えています。それぞれの専門領域において研鑽を積みながら、内科全般を総合的に診療することを心がけています。

インフルエンザと普通のかぜとは、原因となるウイルスの種類が異なる、違う病気です。通常のかぜは、のどや鼻に症状が現れるのに対し、インフルエンザは急な高熱が特徴です。さらに、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。特に65歳以上の高齢者がかかると重症化の可能性が高く肺炎など合併症を併発することが多いので、十分な注意が必要です。インフルエンザにかかってもすぐに症状が出るわけではありません。インフルエンザにかかってから、くしゃみや咳、悪寒、発熱、倦怠感などの症状が出るまでの期間を「潜伏期」といいます。潜伏期は、個人差はありますが、1～3日（平均2日間）です。感染していても初期でウイルスの量が少ない場合は、インフルエンザ検査で陰性（－）とでる場合があるので、陰性（－）がでたからといってインフルエンザに感染していないとはいえません。キットの種類や検査する時期などによっても、差がありますが、陽性（＋）とでたら、その診断は確実です。

《日常生活でできる予防方法》

①栄養と休養を十分にとる

体力をつけ、抵抗力を高めることで感染しにくくなります。

②人ごみをさける

病原体であるウイルスをよせつけないようにする。

③適度な温度、湿度を保つ

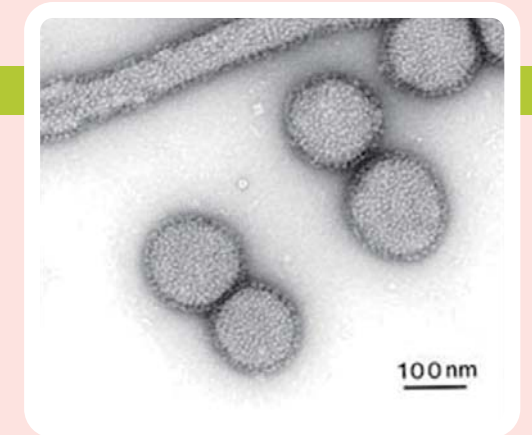
ウイルスは低温、低湿を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空気中を漂っています。加湿器などで室内の適度な湿度を保つ。

④外出後は手洗いとうがいをする

手洗いは接触による感染を、うがいはのどの乾燥を防ぎます。

⑤マスクを着用する

予防が必要な方はマスクを着用しましょう。罹患した人では、咳やくしゃみの飛沫から他人に感染するのを防ぐ効果もあります



↑インフルエンザウイルス



インフルエンザ予防接種

最も確実な予防は流行前に予防接種を受けることです。

特に、高齢者や心臓や肺に慢性の病気を持つ人、気管支喘息を持つ小児などは重症化する場合があります。予防接種は健康な成人のインフルエンザに対する発症予防効果は70.90%と高い効果が認められており、また、予防接種は高齢者の死亡の危険を約80%減らすなど、重症化を防止する効果もあります。予防接種を受けてから、インフルエンザに対する抵抗力がつくまでに約2週間かかります。

効果は5か月間程度持続しますので、早めに接種を受けましょう。当院では10月よりインフルエンザ予防接種を受ける事ができます。

**インフルエンザ予防接種を受けたい方は、
外来受付にお問い合わせください**

文責 外来 本田 洋子

今回は地域医療連携室・医療相談室の
医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）についてご紹介します

病気になると、それに伴ってさまざまな生活上の不安・心配ごとや問題が起きることがあります。ソーシャルワーカーは、その問題について一緒に考え、必要に応じて院内外の関係者と連絡を取り、問題の解決へ向けてのお手伝いをさせていただきます。

例えば・・・

- *医療費や生活費のことが心配
- *退院後の自宅での生活が心配
- *自宅の改造をしたい
- *介護保険や社会福祉制度について知りたい
- *療養についての不安や悩みごと

・・・など



- ◆ご希望の方は、医師・看護師にお申し出いただくか、直接おいでいただいても構いません。
- ◆事前に相談希望の旨をお申し出いただくと、お待たせすることなく応じることができます。
- ◆相談により患者の皆様やご家族の方が不利益を受けることはありません。
- ◆相談は無料です。
- ◆ご家族の方でも構いません。
- ◆秘密は厳守いたします。



↑ 地域医療連携室・医療相談室のスタッフ



↑ 問題解決のお手伝いをします

リハビリテーション科では、最適なリハビリテーションの実施、チーム医療の実践ならびに質の向上などに対し様々なカンファレンスを実施しています。
今回は、それぞれの特徴などを簡単に紹介します。

『新患リハビリカンファレンス』

- 毎週木曜日の午後4時半から実施。
- リハビリ医師である岩永医師を中心にリハビリスタッフが参加して行っています。
- 画像を通しての予後予測や注意点、訓練の進め方などのアドバイスをもらい訓練に生かしています。

『症例リハビリカンファレンス』

- 毎週木曜日の午後5時半から実施。
- リハビリスタッフのみで行っています。
- 担当スタッフが現状を動画やスライド等にまとめて提供し、訓練を通しての疑問点や他のスタッフからの視点での指導やアドバイスなど活発なディスカッションを行っています。日頃、聞きにくい疑問などもカンファレンスを通して解消しています。

『心臓リハビリテーションカンファレンス』

- 隔週月曜日の16時30分から実施。
- 心臓リハビリテーションを実施している方を対象に、それぞれの職種からの意見をまとめ、安全に運動療法が実施されるように取り組んでいます。

『病棟でのリハビリカンファレンス』

- 毎週火曜日14時30分から3B病棟で実施
- 毎週水曜日11時30分から2A病棟で実施
- 毎週水曜日14時30分から2B病棟で実施
- 毎週木曜日11時30分から3A病棟で実施
- リハビリ担当者と病棟看護師が病棟での様子やリハビリの状況などをディスカッションし目標を統一し、それぞれの立場からのチーム医療に生かしています。



↑ 岩永医師中心に画像診断をもとにして、新しい患者さんへの訓練の進め方などを話し合う、新患リハビリカンファレンス



↑ リハビリスタッフ同士で行う症例リハビリカンファレンス

翡翠苑 ふれあい祭り

4月21日に開かれた『ふれあい祭り』には、77名の入所者の方々のご家族が来苑され、入所者と一緒に和やかなひと時を過ごして頂きました。

小学6年生の上地凛太郎君による津軽三味線のミニライブや喫茶コーナー、作品展示コーナー、バザーコーナーを設けて楽しんで頂くことができました。

普段にない入所者の方々の表情もみられ、ご家族と一緒に職員も感動する場面もありました。

今後も入所者の方々に楽しく苑生活を送って頂ける様取り組んでいきたいと思ひます。



東筑会ボウリング大会・栄養科通信

THN vol.41
touchiku hospital news



東筑会ボウリング大会
5月24日(金)にグランモールのスポーツ北九州にて第6回東筑会ボウリング大会が行われました。この大会は職種や部署の垣根を越えて、職員の交流を深める目的で、毎年行われています。忙しい日常を離れ、みなさん童心に返って、盛り上がりました。

栄養科 通信

「秋の味覚」といっても、まず思い浮かぶ食材がきのこ類。低カロリーで食物繊維が豊富、免疫力を高める働きもあるので、毎日の健康食卓には欠かせません。そこで今回は、しめじとえのきたけを使った料理を紹介。

材料《2人分》

しょうゆ…大さじ2
酒…大さじ1
砂糖…小さじ1
a { ねぎ(みじん切り)…5cm程度
にんにく(みじん切り)…1/2片
すり白ゴマ…大さじ1
一味唐辛子…少量
牛もも薄切り肉(一口大)…150g
しめじ類…150g
えのきたけ…150g
ねぎ(斜め切り)…50g
春菊…50g
人参(短冊)…40g
ごま油…小さじ2

きのこのプルコギ風

～2種類のたっぷりきのこでうま味も倍増!甘辛味に仕上げた韓国風すき焼き～
(1人分 300kcal, 塩分 2.8g)

《作り方》

- ①牛肉にaを加えて合わせ混ぜる。
- ②しめじは石づきを除いて小房に分け、えのきは石づきをほぐす。
- ③鍋にごま油を熱して、ねぎを炒め香りがたったら人参と②を加えて炒める。
- ④①を汁ごと加え煮立ったら火を弱めてしばらく煮る。仕上げに春菊を加え、さっと煮て出来上がり。

